



2008年(平成20年)

12月10日 水曜日

発行所:十勝毎日新聞社
〒080-8688
帯広市東1条南8丁目
電話(代表)0155-22-2121

道産「CAMUI」 21日打ち上げ実験

大樹ロケット5基用意

【札幌・大樹】NPO法人「ター(HASTIC、札幌)北海道宇宙科学技術創成セン」は9日、道産小型ロケット

「CAMUI(カムイ)ハイ」させる実験を初めて取り入れ、21日に大樹町多目的航空公園付近で行うと発表された。これまでは大学生製作の超小型衛星を搭載し、放出する作業が主だったが、今回は技術性を追求。緊急時を想定し、エンジンの燃焼を中断

させる実験を初めて取り入れるなど、一歩踏み込んだ内容としている。

カムイは液体酸素と液リエンを推進剤とし、火薬を使用しないため安価で製作できる。機体は再利用でき、2002年から大樹町で打ち上げ実験を行っている。今回は

5基のロケットを用意。加速度や圧力、気圧などフライトデータの取得や、機体に搭載した小型衛星(HASTIC製作)の通信実験、緊急時に地上から指令を出し、燃焼を中断させ減速させるなどを目的としている。到達高度は1キロと5000以上の2種、ロケットは全長2.9メートル、重量約20キロ。

伊藤敏一 HASTIC副理事長は「カムイロケットの新たな一歩を示せるよう成功させたい。実験の幅を広げること、ロケットの多くの利用につながる」と話している。

実験は一般公開する。希望者は21日午前4時50分までに町多目的航空公園で受け付けを済ませる。問い合わせはHASTIC事務局(011・3008・5100)へ。

(北雅貴)